2026 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 トーヨーカネツ株式会社
代表者名 代表取締役社長 大和田 能史
（コード番号 6369、東証プライム）
問合せ先 取締役 専務執行役員 米 原 岳 史
（TEL. 03-5857-3333）

2027 年 3 月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年5月 15 日に公表した 2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1． 2027 年３月期 第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益※
前回発表予想（A）	百万円 29,400	百万円 1,100	百万円 1,160	百万円 760	円 銭 48.76
実績（B）	28,376	472	607	374	24.38
増減額（B－A）	▲ 1,024	▲ 628	▲ 553	▲ 386	
増減率（%）	▲ 3.5	▲ 57.1	▲ 47.7	▲ 50.8	
（ご参考）前年同期実績 （2026 年３月期第２四半期）	27,480	2,307	2,461	1,653	106.62

※当社は 2026 年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。『（ご参考）前年同期実績（2026 年３月期第２四半期）』の１株当たり中間純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2． 差異の理由

売上高については、すべての報告セグメントにおいて各々前回発表予想数値を若干下回ったことから、前年同期実績数値を上回ったものの、前回発表予想数値を若干下回りました。

一方、営業利益は、物流ソリューション事業において、高採算案件の売上計上が部材提供の遅れにより下期にずれ込んだことなどから、前回発表予想数値を下回りました。

なお、通期の連結業績につきましては、上記のとおり、物流ソリューション事業において下期にずれ込んだ高採算案件が売上計上される見込みであることに加え、その他のセグメントについても概ね想定どおりの推移となっているため、前回公表の業績予想を据え置いております。今後、業績予想修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しでありますので、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上